

早期コシヒカリの適期収穫と普通期水稻の病害虫対策!!

<中央地区>

令和4年8月
東讃農業改良普及センター
東讃農業改良普及協議会

早期コシヒカリ収穫時期予測 (7月末時点)

収穫期は「**平年並み**」か「**やや早い**」見込み

○向こう1か月の気温は平年より高く、晴れの日が多い見込みです。

(四国地方1か月予報7月21日気象庁発表)

○刈遅れによる品質低下を招かないようにしましょう。

早期コシヒカリ収穫の目安

①出穂後の日数(出穂後の積算気温) ⇒**30日~35日(900~950℃)**

(出穂期は全体の40~50%の穂が出穂した時期です。)

②籾の**黄変率⇒85%程度**

③籾の**水分⇒25~26%程度**



収穫期の水管理

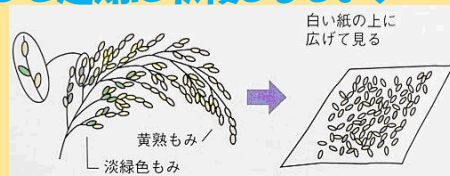
○**落水時期は、収穫7日前を目安**とし、収穫作業に支障がない限りできるだけ遅らせましょう。

表 田植時期別 本年と平年との差 (高松伏石・香南アメダステータ参照)

田植日	出穂期		収穫期	
	栽培しおり (平年)	本年産	栽培しおり (平年)	本年産 (予想)
4月25日	7月15日	7月13日	8月15日~18日	8月13日~15日
5月1日	7月19日	7月17日	8月19日~22日	8月16日~22日
5月10日	7月24日	7月24日	8月24日~27日	8月24日~28日

籾の黄変率・水分を確認して適期に収穫しましょう!

籾の黄変部の判定方法
畦から2m程度入った中庸な株の最長稈の穂をとり、不稔籾を除いて確認する。



普通期水稻の病害虫防除

斑点米カメムシの発生予報が「**やや多**」となっています(8/2病害虫防除所発表)。また、普通期水稻ではいもち病の発生が局所的に確認されています。適期防除を行い、品質・収量を確保しましょう。

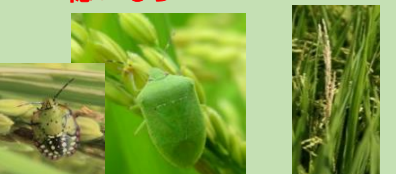
防除時期	対象病害虫	使用薬剤・10aあたり使用量(倍率)
本田一回目 いずれか	出穂15~20日前 (粒剤の場合)	いもち病、紋枯病、福こうじ病、ウンカ類、カメムシ類 ゴウケツモンスター粒剤 3kg
	出穂10日前 (豆つぶの場合)	いもち病、紋枯病、ウンカ類、カメムシ類 ワイドパンチ豆つぶ 250g
	出穂直前~出穂期 (7077'粒剤の場合)	カメムシ類 ノンプラスバリダダントツフロアブル 1,000倍 150ℓ
本田二回目 いずれか	出穂7~10日後 (粒剤、豆つぶの場合)	カメムシ類、ウンカ類 スタークル豆つぶ 250g 【又は】スタークル粒剤 3kg
	出穂10~14日後 (水溶剤の場合)	カメムシ類、ウンカ類、コブノ スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 100ℓ
	出穂10~14日後 (7077'粒剤の場合)	カメムシ類、ウンカ類、コブノメイガ、イナゴ類 キラップジョーカーフロアブル 1,000倍 150ℓ

いもち確認防除	ブラシンプロアブル	1000倍、60~150ℓ	収穫7日前まで
---------	-----------	---------------	---------



穂いもち

紋枯病



ミナミアオカメムシ

バッタ類

熱中症に注意!!

今年の8月は平年と比べ、気温が高くなると予想されています。しっかりと熱中症対策をしましょう。

夏の農作業での留意点

- ①気温の高い時間帯を外して作業しましょう。
- ②できるだけ単独作業を避けましょう。
- ③こまめな休憩、水分補給をしましょう。